**「卓越した研究業績」の代表者様・ご担当者様**

**国立大学等における「卓越した研究業績」のご紹介のためのアンケート**

**～「先生のご研究」を、広く社会に伝えるためのご紹介のお願い～**

調査・運営事務局 株式会社シーズ

調査企画　学校法人河合塾　教育研究部

本と学問でひらく未来「みらいぶプラス」＜河合塾運営＞

調査協力　大学改革支援・学位授与機構　研究開発部

2018/07/31

拝啓　時下ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「本と学問でひらく未来『みらいぶプラス』（<http://www.milive-plus.net>/ [※1→文末]）」は、未来の社会を見据え、高校生など誰もが“自然に”学問に出会える場作りが必要であると考え、河合塾によって運営されております。学問研究の進展は人間や社会の発展には不可欠であり、若者がその状況を理解することは、学問の魅力に気づき、自らの未来を描くきっかけとなると考え、このサイトでは、様々な分野の学問や、その学問を知るきっかけとなる本、研究の最新動向、そしてそれらに出会える大学や研究者に関する情報の提供を行っております。

そのサイトの中で、大学における最前線の優れた研究成果を紹介するために、（独）大学改革支援・学位授与機構が実施し2017年6月に公表した「国立大学法人等の**第２期中期目標期間**における教育研究の状況の評価結果」において「卓越した研究業績（SS）」<※2>として記載され、公表された研究を対象に、その魅力を高校生を含め社会に広く伝えていきたいと考えております。これにより、若者の関心を増すだけでなく、国立大学が行う研究活動の学問的および社会的な意義を社会にも説明する一助になればと考えております。

<※2>大学改革支援・学位授与機構のHP（<https://www.niad.ac.jp/>）の「大学等の評価」の中の「国立大学教育研究評価」(「国立大学及び大学共同利用機関の教育研究活動の評価」)の中に「国立大学等の第２期中間目標の評価結果」のページがあります。

そこで大学別に公開されている「学部・研究科等の研究に関する現況分析結果(pdf冊子)」の中の「分析項目Ⅱ　研究成果の状況」に記載されています。

本アンケートでは、その「卓越した研究業績」および関連する情報について伺います。いただいた情報は、高校生など一般の方にも関心をもっていただけるように原稿化し、サイト『みらいぶプラス』等に掲載させていただきます。公表に際しては、改めてご連絡を差し上げ、内容の確認・修正のお願いをさせていただきますので、どうか気軽にまずお書きいただけましたら幸いです。なお、本調査にあたっては、大学改革支援・学位授与機構研究開発部にご協力いただいております。

御多忙の折、大変恐れ入りますが、どうか3ページ以降のアンケートにご回答いただきますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先、またはメールにご連絡ください。

末筆ではありますが、一層のご健康と、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

アンケートのご回答の要領

|  |
| --- |
| 1.ご回答をお願いしたい方   * ご回答は「卓越した研究業績」（SS業績）の研究代表者の先生、あるいは代表ではないがその研究に参加しており内容を把握しておられる先生（たとえば同一研究室の方など）にお願いいたします。   ※1つの研究業績に対して、複数の所属や項目で、「卓越した研究業績」として名前が挙がっている場合も、アンケートは、1つだけお答えいただければ結構です。  2.アンケートの内容構成と回答内容のお取り扱いについて  　アンケートは4部構成となっております。  ●アンケート第Ⅰ部、第Ⅲ部、第Ⅳ部の問12.13.17、は、高校生を中心に一般の人が、学問分野を理解し、その研究に関心を持つきっかけとしたいと考えた設問となっております。できる限り平易で、わかりやすいご説明をお書きいただきたく存じます。これらは、ご記入者の研究内容として、Webサイトへ掲載さていただきたいと考えております。  （当方で編集させていただき、改めてご連絡、その内容の確認・修正等のお願いをしたく存じます。）  ●アンケート第Ⅱ部は、優れた研究が実施された体制や環境等に関するものであり、大学改革支援・学位授与機構研究開発部にて集計し、分析結果をデータの形で公表し、大学の政策・戦略の形成等に役立てていただくことを考えております。  ●アンケート第Ⅳ部の問14.15.16は、学問を通した進路選択の可能性を高校生にぜひ知っていただきたく、記入者のわからない形で集計し、公表していきたいと考えております。   * アンケート回答は、弊事務局の個人情報管理の規則に基づき、厳正に管理致します。 * 記述形式の設問が多いため、お答えできる範囲で結構です。★★★あるいは★★の設問は、是非ともお答えください。   3.アンケートの締め切り  御多忙のところ大変恐縮ですが、8月31日(金)までに、アンケートにご記入されたご担当の方から直接、メールにて、調査・運営事務局シーズ（国立大学の「卓越した研究業績」調査・運営事務局/[gakumon@cz-wee.com](mailto:gakumon@cz-wee.com)）にご返送いただきまようお願いいたします。  尚、本アンケートのファイルは、サイト「みらいぶプラス」（<http://www.milive-plus.net/>）のトップページ一番下から入れるページから、ダウンロードしていただけます。郵送でお手元に届きました場合には、できましたら、ダウンロードしていただき、メールにてご返送いただければ有難く存じます。 |

【国立大学の「卓越した研究業績」調査・運営事務局／ご返送先・問い合わせ先】

株式会社シーズ　担当：市川 智康

〒164-0001 東京都中野区中野3-33-15 KHTビル4階

tel:03-3229-8521／fax:03-3229-8522／e-mail:[gakumon@cz-wee.com](mailto:gakumon@cz-wee.com)

【みらいぶプラス事務局】学校法人河合塾　教育研究部　山本真司

【サイト】:みらいぶプラス/背伸びして、本と学問に出会う  
⇒<http://www.milive-plus.net/>

（※1）「みらいぶプラス」は経済産業省のキャリア教育や理系の魅力の発信等の

事業で河合塾が立ち上げ、独自運営しております。

【調査協力】大学改革支援・学位授与機構　研究開発部

**国立大学等における「卓越した研究業績」のご紹介のためのアンケート**

■ご記入者のお名前、連絡先等、下記にお書きください。★★★

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  |  | |
| お名前 | （姓） | （名） | |
| ご所属 | 大学　　　　　　　学部　　　　　　　　　　　学科  　　　　　大学院　　　　　　研究科　　　　　　　　　　専攻  　　　　　大学　　　　　　　　　　　　　　　　　　　研究所 | | |
| 学生への指導として主に担当されている学科<研究室に所属する際の学科等>(ない場合は結構です)  　学部・学科　→  　研究科・専攻→ | | | |
| ご職位（○をつけてください） | 教授　　准教授　　助教　その他（　　　　　） | | |
| お電話番号※ |  | | ※左記ご連絡先情報については、サイトに掲載する際の内容確認のご連絡にのみ使用いたします。 |
| Fax番号※ |  | |
| メールアドレス※ |  | |

第I部　卓越した研究業績について

|  |
| --- |
| **以下の質問は、「みらいぶプラス」サイトにて「卓越した研究業績」を紹介するための情報とさせていただきます。ご回答は、高校生を含めた一般の人が学問分野を理解しその研究にも関心を持てるように、平易でわかりやすい説明としてお書きください。** |

## 問1. 研究業績名称

本アンケートでご回答対象とする「卓越した研究業績」の名称（研究業績説明書における「研究テーマ」名）をお書きください。★★★

|  |
| --- |
|  |

## 問2. 研究実施者

ご回答者以外に、本研究業績にかかる研究活動を行った教員がいましたら（複数名いれば全て）、その方のお名前とご所属をお書きください（学生やポスドクは除きます）。★★★

|  |
| --- |
|  |

## 問3. 学問分野（細目）

上記の「卓越した研究業績」の詳細な学問（研究）分野名をお書きください。★★★

|  |  |
| --- | --- |
| 分野名 |  |

また、その学問の領域は、「科学研究費助成事業の細目」でいえば、何にあたりますか。細目番号は下記の「日本学術振興会」のリストの4桁でお答えください。★★★

|  |  |
| --- | --- |
| 細目番号 |  |

（研究業績説明書を作成した平成27年度の細目表を用います）　  
<http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/data/h27/h27_koubo_08.pdf>

## 問4. 研究業績の内容

上記の「卓越した研究業績」について、お聞きします。以下についてお書きください。

問4-①. 上記の「卓越した研究業績」を中心とするご回答者の研究課題は、どのように着想されましたか。具体的なエピソードも思い出していただき、それも含めてお書きください。（200～400字を目安にして（超えても構いません）、お願いします）★★★

|  |
| --- |
|  |

問4-②.上記の「卓越した研究業績」について、以下の3点それぞれ（特にa,bについて）を、一般の人にもわかりやすいようにご紹介ください。（300～600字を目安にして（超えても構いません）、お願いします）★★★

1. その研究が進むと何が良いのでしょうか(研究の問題意識、どんな課題が解決されるのか等)。また到達目標はどうなりますか。
2. 具体的な研究対象や得られた知見（特に高校生にとって新しい発見、情報となるようなもの）はどのようなものですか。
3. 研究方法やアプローチはどのようなものですか？

|  |
| --- |
|  |

問4-③. もし、大学改革支援・学位授与機構の評価のために提出した「研究業績説明書」の内容がお手元に残っておられましたら、その「要旨」欄を以下にコピーください。ウェブサイト編集の参考にさせていただきます。

|  |
| --- |
|  |

## 問5　研究活動の特徴

　「卓越した研究業績」をうんだ研究活動はどのような特徴がありますか。以下から当てはまるもの全てに○をつけてください。その中でも特に当てはまるもの１つに、◎をつけてください。★★

a. （科研費の細目をまたぐような）学際的な研究活動である。

b. 人文・社会科学と自然科学をまたぐような学際的な研究活動である。

c. （科研費の一細目内のような）特定の学問分野において実施した研究活動である。

d. 該当する学問分野の中で現在重視されており、多くの研究者が競っている研究テーマである。

e. 該当する学問分野の中で、研究の多様性を支えるような独自性の高い研究テーマである。

f. 学術面での貢献以外にも、社会・経済・文化・環境等の課題の解決に寄与することを目指した研究活動である。

g. 国内の他大学・研究機関の研究者と協力した研究活動である。

h. 海外の他大学・研究機関の研究者と協力した研究活動である。

i. 国内・海外の学術的団体以外（政府、企業、非営利組織など）の者と協力した研究活動である。

j. 規模の大きな装置を利用する研究活動である。

k. 個人レベルで行う小規模な研究活動である。

## **問6**研究活動の社会・経済・文化・環境等の面での意義

上記の問3で「f. 学術面での貢献以外にも、社会・経済・文化・環境等の課題の解決に寄与することを目指した研究活動である」とご回答された場合、どのような面での課題解決を意図されておられますか。以下の中で当てはまるものがあれば、全てに○をつけて下さい。その中でも特に当てはまるもの１つに、◎をつけてください。★★

|  |
| --- |
| **1**. 自然環境や資源の保全 **2**. 医療や福祉の改善  **3**. 製品・製法等の創出・改善 **4**. 新産業の創出  **5**. 災害・犯罪等に対する安全・安心の向上 **6**. 生活の質の改善・向上、生活基盤の強化  **7**. 政策形成への寄与 **8**. 地域社会の解題解決  **9**. 国際社会の課題解決 **10**. 専門職人材の養成、専門職業の高度化  **11**. 新しい文化の創造・文化の保全 **12**. 学術的知識の一般社会への普及・啓発  **13**. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

第Ⅱ部　「卓越した研究業績」の研究体制や環境等

|  |
| --- |
| * 以下の質問は、「卓越した研究業績」を生んだ研究体制や資金などの環境を確認して、国立大学の優れた研究業績がいかに産まれているかを把握して、情報発信するためのものです。個々の研究業績について公表せず、集計値のみで公表します。 * 研究業績説明書には「研究業績」ごとに最大3つまで成果（論文等）を記載する形式になっていました。研究業績説明書に記載した最大3編までの研究成果の著者を念頭にしてお答えください。 |

## 問7　研究実施体制

　「卓越した研究業績」にかかる研究活動は、どのような体制で実施しましたか。（最大３つまであげた研究成果＜論文等＞の体制等）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学内 | 教授 | 人 |
| 准教授・専任講師 | 人 |
| 助教 | 人 |
| ポスドク・研究員・技術支援者等 | 人 |
| 学生 | 人 |
| その他 | 人 |
| 国内の他大学 | 教員 | 人 |
| ポスドク・研究員・技術支援者等 | 人 |
| 学生 | 人 |
| 海外の他大学 | 教員 | 人 |
| ポスドク・研究員・技術支援者等 | 人 |
| 学生 | 人 |
| 国内の公的研究機関 | | 人 |
| 海外の公的研究機関 | | 人 |
| 国内外の民間企業 | | 人 |
| そのほか | | 人 |

## 問8　学生やポスドクの役割

　最大3つまであげた研究成果（論文等）の中で学生やポスドクが第一著者であったものはありますか。本数をお教え下さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 第一著者の論文数 | |
| 学生 | 本 | |
| ポスドク | 本 | |
| その他（ご回答者の教員など） | 本 | |
| 合計して、最大で3本 | |

## 問9　研究資金

問9－①「卓越した研究業績」としてあげた成果を生むための研究活動について、どのような研究資金を利用しましたか。以下の表から、当てはまる番号の全てに○をつけて下さい。該当項目がない場合はD.の自由記述欄にご記入下さい。（ご回答者の研究活動に使用した場合には、所属機関・組織や参加プロジェクトが獲得した研究資金も含みます）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| A. 国の研究資金制度（主なもの） | | |
| 文科省 | **1.** 科学研究費助成事業　特別推進研究 | **2.** 科学研究費助成事業　特定領域研究 |
| **3.** 科学研究費助成事業　基盤研究 | **4.** 科学研究費助成事業　若手研究 |
| **5.** 科学研究費助成事業　新学術領域研究 | **6.** 科学研究費助成事業　挑戦的萌芽研究 |
| **7.** 科学研究費助成事業のうちで上記以外 | |
| **8**. 戦略的創造研究推進事業 CREST | **9**. 戦略的創造研究推進事業 ERATO |
| **10**. 戦略的創造研究推進事業 さきがけ（PRESTO） | **11**. 戦略的創造研究推進事業 先端的低炭素化技術開発(ALCA) |
| **12**. 戦略的創造研究推進事業のうちで上記以外 |  |
| **13**. 21世紀COEプログラム・グローバルCOEプログラム | **14**. 世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI） |
| **15**. 科学技術振興調整費 |  |
| **16**. 先端計測分析技術・機器開発プログラム | **17**. HPCI戦略プログラム |
| **18**. 感染症研究国際ネットワーク推進プログラム | **19**. 分子イメージング研究戦略推進プログラム |
| **20**. 再生医療の実現化プロジェクト | **21**. 脳科学研究戦略推進プログラム |
| **22**. 革新的細胞解析研究プログラム（セルイノベーション） | **23**. ターゲットタンパク研究プログラム |
| **24**. 次世代 IT基盤構築のための研究開発 | **25**. 光・量子科学研究拠点形成に向けた基盤技術開発 |
| **26**. ナノテクノロジー・材料を中心とした融合振興分野研究開発 | **27**. ナノテクノロジーを活用した環境技術開発 |
| **28**. ナノテクプラットフォーム |  |
| **29**. 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） | **30**. 革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM） |
| **31**. 知的クラスター創成事業・地域イノベーション戦略支援プログラム | **32**. 都市エリア産学官連携促進事業 |
| **33**. 国立大学等の特別教育研究経費 | **34**. 私立大学等経常費補助金特別補助・私立大学等研究設備整備費補助金 |
| **35**. 日本学術振興会特別研究員制度 |  |
| 内閣府 | **36**. 最先端研究開発支援プログラム（FIRST） | **37**. 最先端・次世代研究開発支援プログラム（NEXT） |
| **38**. 革新的研究開発推進プログラム（ImPACT） | **39**. 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP） |
| 総務省 | **40.**  戦略的情報通信研究開発推進制度 | **41.**  情報通信研究機構 民間基盤技術研究促進制度 |
| 厚労省 | **42**. 厚生労働科学研究費補助金 | **43**. 医薬基盤研究所　保健医療分野における基礎研究推進事業 |
| 農水省 | **44**. 農業･食品産業技術総合研究機構　イノベーション創出基礎的研究推進事業 | |
| 経産省 | **45**. NEDO産業技術研究助成制度 | **46**. NEDO大学発事業創出実用化研究開発事業 |
| **47**. NEDO省エネルギー革新技術開発事業 |  |
| 環境省 | **48**. 環境研究総合推進費 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| B. 所属する大学・研究機関・企業内の資金 | |
| **61**. 運営費交付金等から、個人に経常的に配分される基盤的資金 | **62**. 運営費交付金等から、内部組織（部局）に経常的に配分される基盤的資金 |
| **63**. 組織内で競争的に配分されるプロジェクト資金 | **64**. 組織内で競争を伴わずに指名により配分されるプロジェクト資金 |
| C. 外部（所属機関以外）からの研究資金 |  |
| **71**. 他大学からの資金 | **72**. 他研究機関からの資金 |
| **73**. 地方自治体からの資金 | **74**. 民間企業からの共同・委託研究費・奨学金 |
| **75**. 非営利組織（財団等）からの資金 |  |
| D. その他、上記の選択肢以外（ご記述下さい） | |
| **81**. | |
| **82**. | |
| **83**. | |

## 問9-②　上記問9-①のうちで、回答者の研究活動をすすめるのに最も影響があった資金はどれですか。上記問9-①の番号を、下欄に番号でお答え下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 回答 |  |

## 問9－③　最も影響があった理由

　上記の問9-②で選定した研究資金はどのような面で、研究活動に効果をもたらしましたか。全てに○をつけて下さい。その中でも特に当てはまるもの１つに、◎をつけてください。

a. 研究成果の量の増加

b. 研究活動のスピードの加速

c. 研究成果の質の向上

d. 研究成果の情報普及の加速

e. リスクの高い研究への取り組み

f. 規模の大きな研究への取り組み

g. 学際的な研究への取り組み

h. 社会的課題の解決に結びつく研究への取り組み

i. 研究装置などの研究環境の充実

j. 優れた学生の確保

k. 優れたポスドクの雇用

l. 国内研究者との共同関係の構築

m. 海外研究者との共同関係の構築

n. セクターを超えた共同関係の構築

o. 最新の研究情報に接する機会の増化

p. 企業等への技術移転の可能性の増加

q. 一般社会へのアウトリーチの機会の増加

s. その他

|  |
| --- |
|  |

第Ⅲ部　研究室・ゼミ等の学生の進路について

**・以下の質問は、ご回答の先生の研究室・ゼミ等における大学院生・学部生などについてお伺いします。**

**・ご回答は「みらいぶプラス」サイトにて「卓越した研究業績」とともに紹介し、大学や大学院への入学を志望する学生に対して、どのような研究を行うことで、どのような進路が拓けるのかの参考にしていただきたいと考えています。可能な範囲でご回答ください。**

## 問10　学生の研究内容

　先生の研究室では学生はどのような研究に取り組んでいますか。または、先生のゼミでは学生はどのようなテーマに取り組んでいますか。具体的な研究課題やテーマ、学生たちが目指していることなどをお書きください。

|  |
| --- |
|  |

## 問11　卒業生の業種・職種

　先生の研究室やゼミの卒業生（あるいは指導している学生）は、どんな業種、職種で、どんな業務をされている方が多いですか。一般的な傾向に加えて、活躍されている卒業生の業務内容をお教えください。その際、特に問4で書かれた学問分野の知識・知見を具体的にどう活かし発展させているか、どんなものを生み出しているか、などもお書きいただけますでしょうか。(いくつかのエピソードともなる例をお挙げください。)

●一般的な傾向として

※業種、職種は、最終ページをご覧いただき、番号でお答えください。（複数可）

|  |  |
| --- | --- |
| 主な業種は→ |  |
| 主な職種は→ |  |

●卒業生の具体的な業務（特に、分野を活かしている業務内容を、具体的に、エピソードも含めて）

|  |
| --- |
|  |

第Ⅳ部　当該学問分野について学ぶための方法について

|  |
| --- |
| * 以下の質問は、ご回答者の研究と同一の学問分野を、他大学などの別の場で学び、研究するための情報をおききします。たとえ学生がご回答者の先生の研究内容に関心をもったとしても、全ての学生がご回答者の先生の大学に入学し、勉強できるとは限りません。そのため、自学するための情報や、他大学での類似研究の状況をおききします。 * また、高校生が学問や幅広い関心を身近に感じるきっかけとなる本などをお教えていただきたくお願いいたします。 |

## 問12　当該学問分野に関する書籍

前頁までの設問で記入された先生が研究する学問分野<科研費の細目>や研究テーマに、高校生など一般の人に**関心を持ってもらうきっかけにな(り最新動向も感じられ)るような本で**、高校生にも手に入れられる本等として、どんな本がありますか。

※専門書・教科書は避けていただき、**高校生でも入手できる廉価な本(新書や文庫を中心に、可能の範囲\1,500以下で購入できると幸いです)、手軽な本(漫画、映画等でも結構です)**をお願いします。

|  |  |
| --- | --- |
| 書籍名 |  |
| 著者 |  |

1. その本では、どのようなことが書かれているでしょうか。先生の学問分野がどう書かれているか、高校生に読んでほしい点、その本の魅力などもわかるようにご紹介ください(200-300字を目安に)。

|  |
| --- |
|  |

問13　当該学問分野以外の書籍

（個別の学問分野と関連する本ではなく、）特に高校時代に読んでおいてほしい本、高校生に勧めたい本をご紹介ください。これからの生き方に参考になる本、学び方やスキルにつながる本、仕事を知る本、教養・趣味、先端学問への挑戦等、どんな観点でも結構です。★★

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 書名・作品名 | 著者・作者 | どんな内容が、どんな点で、どんな人にススメられますか（本から知ることができる点なども） |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |

●特に、おススメしたい一冊について⇒\_\_\_\_\_(上記の中から番号)

1. 特におススメしたい一冊の内容をご説明ください。少しでも本の魅力(高校生にとって発見になる点、有効になる点<知識・知見、考え方等>)が伝わるようお願いいたします。高校生に、特に読んでほしい箇所や観点、この本を通して知ってほしいことなどをお教えください。

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| **◎以下「学問・研究テーマに関する大学など」についての質問は、**  **先生のご紹介とは、別のページで、データとして、示して行く予定です。**  ★「先生のテーマや学問への誘い」や「進路選択の幅広い可能性」として、応えられる範囲で、お答えください。 |

問14　関連する研究を実施する大学・学部・学科

設問4で記入された「科研費の細目」や学問分野、先生が研究する研究テーマにおいて、特色やユニークさを有している大学・学部・学科があれば、お教えください。★★

※なるべく**私立大学や地方の国公立大学についてご紹介ください。**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 大学 | 学部・学科  （研究科・専攻、研究所名等） | 分野名や  テーマ名等 | 特色　(学ぶ上で秀でた点＜学問としての特色やユニークさ、教育の丁寧さ、特筆する研究者等>) |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |

問15　関連する研究を実施する先生・研究者

設問4で記入された「科研費の細目」や学問分野、**先生が「追求している研究テーマと類似する研究テーマ」**を研究されている先生・研究者をお教えください。★★

・「中堅」（30代後半から50代）に加えて、「若手」（主に20代から30代前半くらいまで。院生も可）も挙げてください。

・所属情報（院生・研究員等も）はわかる範囲で結構です。その方の研究テーマ、特色、評価するポイントもお書きください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 氏名 | 所属（大学名、研究所名等） | 研究テーマ等 | 特色、評価するポイント |
| 中堅（30代後半～50代） | 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 氏名 | 所属（大学名、研究所名等） | 研究テーマ等 | 特色、評価するポイント | ○ |
| 若手（20代～30代前半） | 1 |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |

※若い研究者と高校生との交流を通じ、高校生の研究への関心を引き出したいと考えております。

「研究発表が面白い」「プレゼンが印象的」な「若手」の方には、右端に○をつけてください。

問16　関連する研究を実施する海外の大学

設問4の「科研費の細目」や学問分野、類似する研究テーマを学べる海外の大学・学部・学科があれば、お教えください。＜海外の大学に進学しようとする高校生も増えています。特に有名でない、入りやすいが、学べる大学など＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 大学 | 学部・学科  （研究科・専攻、研究所名等） | 分野名や  テーマ名等 | 特色　(学問や研究としての特色やユニークさ、教育の丁寧さ等) |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |

17.最後に、先生が学生への指導として主に担当されている学科（p1下部分でご記入）等での、先生の学問を含め、設問3の「科研費の細目」分野の特色（細かい分野の傾向、指導の特色など）をお書きください。（高校生にPRする形でお書きいただいても構いません。）

|  |
| --- |
|  |

以下はお答えできる範囲でお答えください。※はリンクを張らせていただけますでしょうか。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究室のHP（URL）※ |  |
| 先生（または先生の研究室）の紹介記事、インタビュー記事などが掲載されたページ(URL) ※ |  |
| ご出身高校名 | 高等学校 |
| ご出身大学名（学士課程） |  |
| ご出身大学院名（博士課程あるいは修士課程） |  |
| ご生年 | 年 |

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

|  |
| --- |
| **■個人情報保護に関する事項**  ●本調査により取得した個人情報は、上記質問および本調査目的に関わる詳細なヒアリング調査、ご案内等に関してご連絡する際のみに利用し、それ以外の目的では使用いたしません。個人情報取扱の詳細につきましては、ホームページをご参照ください。  株式会社シーズ（<https://www.cz-wee.com/pp_policy.html>）　　　学校法人　河合塾（<http://www.kawaijuku.jp/privacy/>）  ●個人情報の取り扱いの一部または全部を、シーズ、または河合塾グループ内の法人以外に委託する場合は、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、「個人情報の取り扱いに関しての契約」を取り交わすとともに適正な管理および監督を行います。  **●個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ先**  株式会社シーズ　tel:03-3229-8521/fax:03-3229-8522 学校法人　河合塾　顧客情報管理部　　 フリーダイヤル　0120-735041　E-mail：kokyaku@kawai-juku.ac.jp  受付時間：10:00～18:00（土日祝、年末年始を除く） |

●業種リスト



●職種リスト

